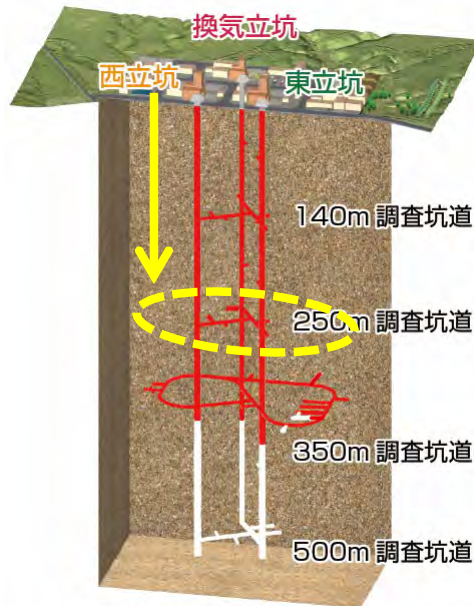
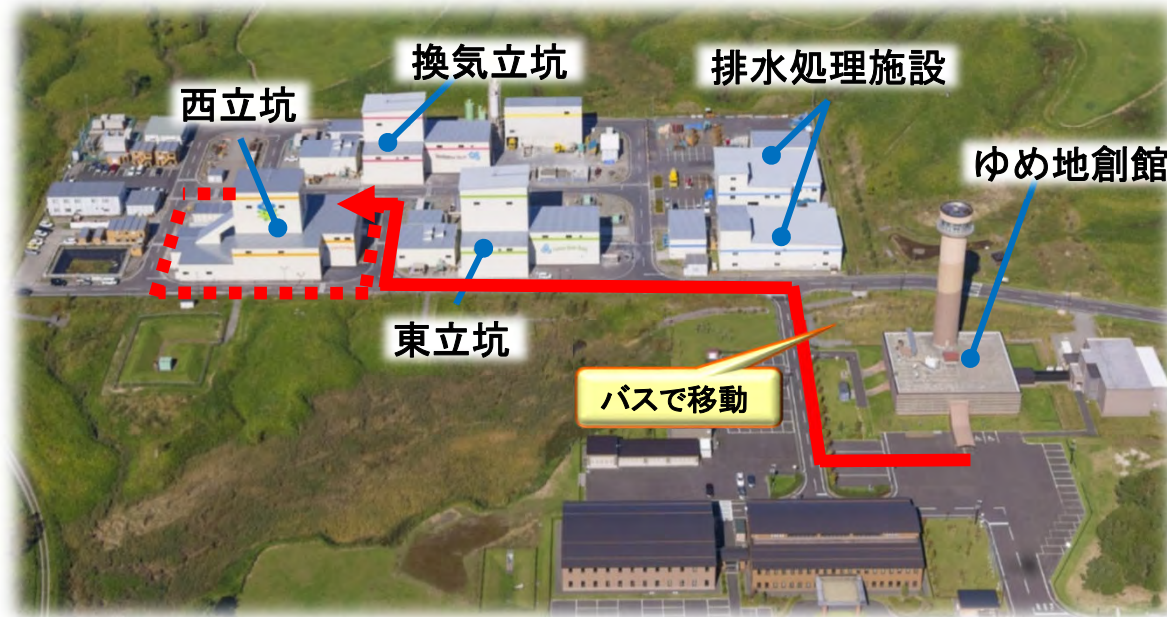
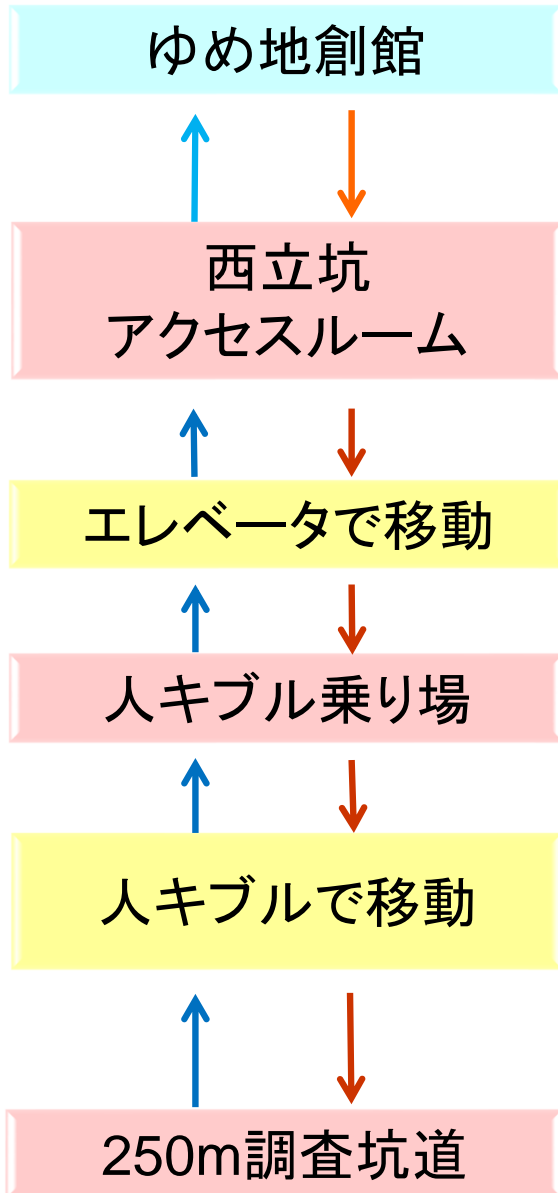


地下施設の見学について



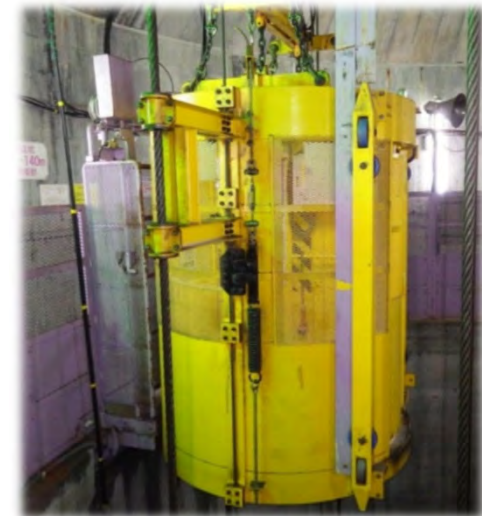
- 本日の見学場所（250m調査坑道）
- 緊急事態が発生した場合の対応
- 注意事項

本日の見学場所（250m調査坑道）



赤枠：掘削済み範囲
白枠：掘削工事における整備範囲 令和5年10月12日現在

地下施設イメージ図



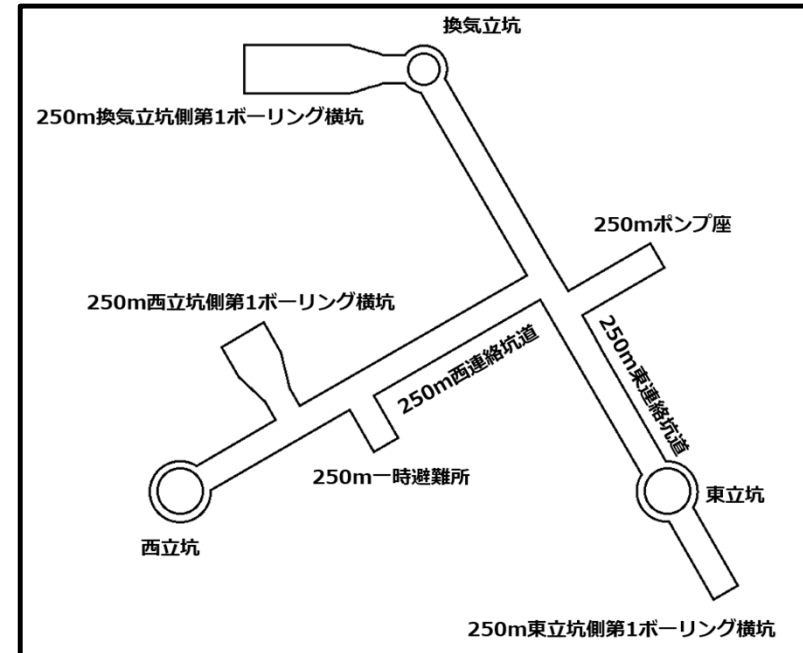
人キブル(工事用エレベーター)

定員11名で運用(案内者、操作者含む)

緊急事態が発生した場合の対応(1)



- 優先的に地上に退避していただきます。
落ち着いて案内者の指示に従って地上へ退避して下さい。
負傷者がいる場合は、最優先で避難していただきます。
- すぐに退避できない場合は、一時避難所で待機していただくこともあります。



一時避難所

緊急事態が発生した場合の対応(2)



- 一時避難所には、以下の設備等があります。
 - 緊急用給気設備、避難用酸素マスク(※)
 - 救急箱、担架、消火器
 - 非常食、飲料水 など

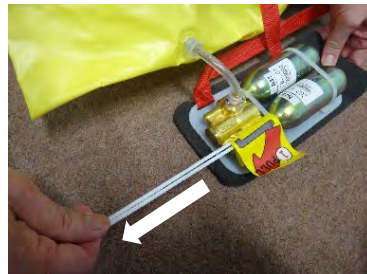


緊急用給気設備
(地上から空気を導入できます)

※避難用酸素マスクの着用方法



①酸素マスクを受取り、袋から取出す



②ヒモを→の方向に引っ張る



③ヘルメットを外して装着する



④マスクを顔面に密着させる



⑤ヘルメットを着け退避する

- 設備・装備の使用時は案内者の指示に従ってください。

避難用酸素マスクは、以下の特徴があります。

- ① 酸素欠乏・有毒ガス・煙で使用可能
- ② 約10分使用可能
- ③ 使用中に呼気温度が熱く感じることもあるが異常ではない
- ④ 使用中は酸素マスクを外さないこと
- ⑤ 開封直後1回限り有効
- ⑥ 避難時、火に近づけないこと



メタンガス濃度対応基準

メタンガス濃度(%)	対応内容
0.25以上	火器使用作業の禁止 非防爆電動工具の使用禁止
0.5以上	パトライト点灯
1.0以上	サイレン吹鳴 退避
1.5以上	坑内電源遮断

法令: 1.5%以上で退避及び火気使用禁止

メタンガスが爆発する条件(すべて満たすこと)

- ・空気中のメタンガス濃度が5%~15%
- ・酸素
- ・火気(点火源)

注意事項(1)

安全及び設備上の観点から、次の方はご遠慮下さい。

1. 自立歩行が困難で介助(車椅子、松葉杖、杖等)が必要な方
2. 小学3年生以下のお子さん(保護者同伴の場合も不可)
3. お酒を飲んでいる方
4. 高所・閉所恐怖症の方



注意事項(2)



- 見学中は案内者(機構職員)の指示に従ってください。
- 落下防止の観点から、物品の持ち込みを原則禁止としています。カメラ等(携帯電話を含む)を持ち込みたい方は事前にお申し出ください。落下防止用のストラップをお貸しします。
- 撮影禁止場所はありませんが、写真・動画撮影(配信含む)の際は、他の見学者へのご配慮をお願いします。
- 火器類(ライター、マッチなど)の持込みは厳禁です。
- 現場には階段や段差がありますので足元や頭上には十分にご注意ください。
- 工事用エレベータ(人キブル)の中では静かにしてください。跳ねたり揺らしたりすると、安全装置が作動して工事用エレベータ(人キブル)が停止することがあります。



注意事項(3)



- 施設の設備や機器に触れないでください。
- フェンスから身を乗り出したり、カメラを突き出して撮影しないでください。
- **地下施設にトイレはありません。** 事前にお済ませください。万一の場合は、一時避難所の簡易トイレをお使いいただきます。
- 地下施設で飲食はできません。
- 途中で気分が悪くなった場合は案内者にお申し出ください。



見学時の装備・服装

- 入坑時には、安全上の観点および汚れ防止のため、お着替えいただきます。
- お着替えの際には係員がご案内します。



ヘルメット

つなぎ服

懐中電灯

反射チョッキ

手袋

坑内入退カード

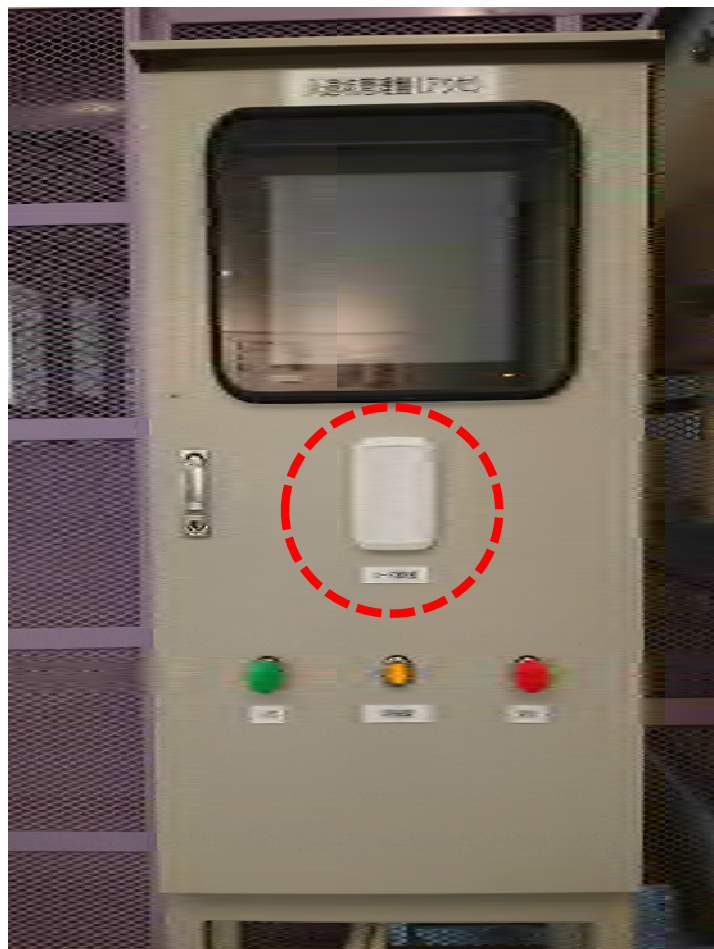
安全長靴



注意事項(5)



地下施設への入坑・退坑時には「**坑内入退カード**」による手続きが必要です。



入退坑管理盤



坑内入退カード
(お着替えの際にお渡しします)

入坑・退坑の際には、坑内入退カードを**カードリーダーにかざして**、入坑・退坑手続きをしてください。
(詳しくは、案内者のご案内します)

それでは、皆さま、地下の世界へ！



250m調査坑道